

東日本大震災 パネル展示

復興の狼煙(のろし)

ポスタープロジェクト

ー復興をめざす釜石市・大槌町の人々ー

忘れることのできない3月11日。これまで経験したことのない自然変動が、東日本を襲いました。瓦礫と化した多くの町。そこに住む人々にとって、現実を受け入れることは困難でしたが、いつまでも途方に暮れていたわけはありません。

様々な想いを胸に秘めながら、前を向いて歩み始めようとする釜石市民。彼らから感じた「人間の強さ」を、そのままを伝えたいと願う盛岡の広告人。苦しみながら悩みながら「今」を撮ることで答えを見つけようとする東京のカメラマン。

「復興の狼煙」ポスタープロジェクトは、この人たちの「想い」が重なって生まれました。

被写体になったのは、岩手県釜石市や大槌町の復興をめざす人々。困難にもかかわらず、その足元はしっかりし、表情は、背景の瓦礫とは対照的に穏やかです。

今回展示する「復興の狼煙」ポスタープロジェクトの作品の中に、前向きに生きることの大切さや強さを見出すことができれば、被災地の方々にとって、一層の励みになるのではないのでしょうか。

(同プロジェクト Web サイトから一部引用)

期間： 8月3日(水)～9月25日(日)

会場：東北大学附属図書館本館 1 階

常設展会場